

消費税の増税に反対する請願

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

[請願趣旨]

私たちの暮らしは、収入が減り続け、その上に医療・年金・介護などの負担が増えて、苦しくなるばかりです。

消費税は、「社会保障のため」「国の財政再建のため」などを理由に導入され、増税されてきました。しかし、消費税が実施されて以降も、医療や年金などの社会保障は悪くなるばかりで、国の財政赤字は膨らみ続けています。

消費税はそもそも、所得の低い人ほど負担が重い「暮らし破壊税」で、社会保障財源としては、最もふさわしくない税金です。

社会保障財源を確保し、国の財政を再建するためには、下げすぎた法人税や所得税の最高税率を元に戻すなど、税金の集め方を改革し、一方で、莫大な予算をつぎ込む大型開発の浪費を是正するなど税金の使い道を改善することこそ求められています。同時に、雇用や取引ルールの確立、農林水産業の再生など、国民が豊かになったと実感できる政治を実現することで、税収増をはかることが必要です。

消費税が増税されれば、国民の消費は落ち込み、地域経済は壊滅的打撃をうけます。

私たちは、国民の暮らしや家計、地域経済を守るために、消費税の増税をきっぱりやめることを求めます。

[請願事項]

- 1、消費税の増税はやめること
- 2、緊急に食料品など、暮らしにかかる消費税を減税すること

氏 名	住 所

消費税廃止各界連絡会（取り扱い団体）